

# 事業報告書

令和4年度

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社京都府支部

# 目 次

## 写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

はじめに

	ページ
1. 災害救護活動	2
2. 赤十字の各種講習	9
3. 赤十字奉仕団	1 1
4. 青少年赤十字（J R C）	1 4
5. 医療事業	1 9
6. 健康相談など医療社会事業	2 3
7. 看護師の養成	2 3
8. 血液事業	2 4
9. 国際活動	2 5
1 0. 社員（支援者）増強と社資募集	2 7
1 1. 赤十字思想の普及・広報活動	2 9
(資 料) 令和4年度の主な行事	3 1
表彰	3 2
役職員名簿	3 3
評議員名簿	3 4
日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図	3 5
施設一覧	3 6

# 写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

## 講習普及事業の強化



健康生活支援講習会



水上安全法講習会

## 有功会事業



有功会会員から小児病棟入院児童に  
クリスマスプレゼントを配布

## 青少年赤十字（JRC）の育成



NHK海外たすけあい  
街頭啓発キャンペーン



## 赤十字ユースボランティアの活動



Limitless事業  
(絵本の読み聞かせ)

## 奉仕団の活動



赤十字奉仕団研修  
(赤十字防災セミナーを受講)

## 医療事業の推進



病院内における災害救護訓練の様子

## 血液事業の推進



献血イベントの様子

## はじめに

日頃から京都府民の皆様や関係各位の方々には、赤十字事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症は、国内の発生から3年余りを経て、令和5年5月8日、感染症法上の位置づけが5類感染症へと見直されました。

日常を取り戻すための大きな節目を迎えたことは間違いありませんが、ウイルスそのものがなくなったわけではありません。引きつづき地域の皆様の生命と健康、尊厳を守るという使命を心に刻み、赤十字の役割と責任を果たしてまいります。

さて、令和4年度は、オミクロン株の拡大による行動制限や、不安定な国際情勢による物価高騰・物資不足などの逆風にさらされ、患者の受診控え・受入れ制限や集団献血の中止、事業計画の見直し等を余儀なくされる中ではありましたが、支部並びに各施設においては、安心安全で質の高い医療の提供、献血の推進、会員増強と社資募集、防災教育や救急法の普及等に取り組み、一定の成果を上げることができました。

また、世界に目を向けますと、新型コロナウイルス感染症の世界規模での感染拡大に加え、自然災害の激甚化・頻発化、また紛争やテロの多発により、人々の生命と健康、安全が脅かされており、赤十字の役割と責任は、ますます大きくなっております。

日本赤十字社全社をあげて、ウクライナ人道危機救援の継続や、新たにパキスタン洪水救援、トルコ・シリア地震救援等、世界各地で発生した災害等への支援を行ってまいりましたが、当支部に対しましても、多くの府民の皆様から多額の救援金を託していただき、被災者のために役立てることができました。

また、府内各市町村と災害対応に向けた連携を図るため、防災倉庫設置の取り組みも推進しており、令和4年度は新たに長岡京市と京丹波町の2か所に設置、令和5年度においても連携を拡大してまいります。

時代が変遷しても、一貫して変わらぬ日本赤十字社の使命「人道の実現」を達成するため、今後とも、支部、各病院、血液センターが一丸となって赤十字事業に取り組んでまいります。皆様のなご一層の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

日本赤十字社京都府支部



# 1. 災害救護活動

## (1) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期におよぶ医療救護活動ができるよう、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等からなる常備救護班を15班編成するとともに、血液センターにおいては血液供給班を編成するなど、有事に備える体制を構築しています。

災害等緊急派遣に対応する救護班要員の任命状況については次の通りです。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	2	10	0	12	災害対策本部要員
京都第一日赤	18	28	12	15	73	常備救護班要員
京都第二日赤	6	23	11	8	48	〃
舞鶴日赤	3	9	5	1	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃(福知山)	0	0	2	0	2	〃
合計	27	62	44	24	157	

※京都第一日赤及び京都第二日赤の常備救護班要員には、日本DMATと京都DMATの登録者を含んでいます。



京都市総合防災訓練  
(救護指揮所の様子)

## (2) 防災ボランティア団体等の状況

京都府支部における防災ボランティア団体としては、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して平成8年1月に発足した、「赤十字レスキューチェーン京都」があり、有事の際に実働し得る団員を確保するためメンバーの増員を図るとともに、特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録するなど、支部における防災ボランティアの活動基盤の構築と発展に努めています。



○赤十字レスキューチェーン京都 支会別会員数（令和5年3月31日現在）

支会名称	団員数（人）
舞鶴支会	4
福知山支会	10
亀岡支会	10
京都支会	16
長岡京支会	9
宇治支会	13
合計	62

また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し有事に備えています。

令和4年度特殊救護要員登録者数（人）	24
--------------------	----

### （3）救護員等の訓練、研修

京都府支部では、救護体制及び技術の向上に努めるため、京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者（人）
第4ブロック合同災害救護訓練	6/18	奈良県（田原本青垣生涯学習センター 他）	44
京都府総合防災訓練	9/4	精華町（東光小学校）	36
福知山市地域防災訓練 （医療救護訓練中止）	9/4	福知山市	0
宇治市総合防災訓練	10/23	宇治市（木幡中学校）	7
京都市総合防災訓練	10/29	左京区（岡崎公園一帯）	30
長岡京市防災訓練	10/30	長岡京市（長岡第六小学校）	3
京都刑務所総合防災訓練	中止	山科区（京都刑務所）	—
支部管内合同災害救護訓練	11/12	伏見区（京都府赤十字血液センター）	46
京都府原子力総合防災訓練 （救護班の派遣無）	11/27	与謝野町	0
第八管区海上保安本部訓練	2/16	舞鶴市（舞鶴湾）	15



第八管区海上保安本部訓練  
(舞鶴市舞鶴湾)

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
救護班要員基礎研修	4/1～3/31	WEB (オンデマンド) 形式	3 2
災害看護論演習 (基礎行動)	4/15	京都第一赤十字病院	3 9
こころのケア研修会	10/5	舞鶴赤十字病院	6
こころのケア指導者養成研修会	11/16～17	本社	1
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	11/24、 11/28～29	舞鶴赤十字病院	6
原子力災害対応基礎研修会	12/8～9	南区 (京都テルサ)	1 3
京都DMAT隊員養成研修	12/17～18	京都第一赤十字病院	1
災害看護論演習 (トリアージ)	1/10	京都第一赤十字病院	3 8
日赤災害医療コーディネート研修	1/21～22	本社	1
こころのケア研修会	2/20～3/10	京都第一赤十字病院 (E-learning+対面)	2 3
日本災害医学会総会・学術集会	3/9～11	岩手県盛岡市	1
合計			1 6 1

③救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
第4ブロック救護員指導者協議会	4/21	奈良県コンベンションセンター WEB (オンライン) 併用	2 0
支部救護員指導者協議会 (第1回)	7/26	京都府支部 WEB (オンライン) 併用	1 5
第4ブロック救護員指導者協議会	9/21	奈良県支部 WEB (オンライン) 併用	1 7

会議の名称	実施日	会 場	参加者（人）
第4ブロック救護員指導者協議会	12/14	兵庫県支部災害救護支援センター WEB（オンライン）併用	11
第4ブロック救護員指導者協議会	2/16	兵庫県支部災害救護支援センター WEB（オンライン）併用	3
支部救護員指導者協議会（第2回）	2/28	京都府支部 WEB（オンライン）併用	19
合計			85

#### （4）日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）

京都府支部では、受講者に対して災害への備えや非常時の心構え等を紹介するとともに、災害時における赤十字の活動について知ってもらうため、「赤十字防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、地域における啓発活動の一つとして位置付けられており、地区・分区や社会福祉協議会、自治会等において積極的に展開しています。

##### ① 赤十字防災セミナー

内容	実施日	会 場	参加者（人）
災害への備え	4/25	日本赤十字社京都府支部（オンライン）	40
	5/16	元今熊野小学校	33
	8/18	加茂文化センター	35
合計			108

##### ② 日本赤十字社防災教育事業における支部指導者数

日本赤十字社防災教育事業における指導者数	職員（人）	ボランティア（人）
	8	3



赤十字防災セミナーの様子  
（今熊野自主防災会）

### (5) 救護、救援活動派遣実績

災害発生時の物資搬送や地域のイベントなどでの事故の発生に対応するため、医師、看護師等を派遣しています。

イベント等への救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内 容	実施日	場 所	派遣人員（人）
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市（保津川河川敷）	7
宇治川マラソン大会	2/26	宇治市（太陽ヶ丘 他）	26

### (6) 救護資機材の整備

災害救護に必要な救護関係資機材は、移動手段として最も重要な車両整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	5	支部、第一、第二（2台）、舞鶴の各病院に常置
	装備車（トラック）	2	
	その他の救援車両	4	
除染	除染設備（テント）	2	除染設備一式、特殊防護服4着は舞鶴に常置※
	特殊防護服（レベルC）	18	
テント	エアー	3	
	パラソル	39	27張は地区・分区に配備
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器（AED 8台を含む）		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		17	3台はドラッシュテント用
担架（特殊を含む）		28	
衛星通信機器（車載用 2台を含む）		11	
無線機	150MHz	32	
	410MHz	26	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※この他に、除染設備（テント）一式及び特殊防護服（レベルC）4着が京都第一、京都第二赤十病院のそれぞれに京都府から貸与されています。



**(7) 災害救護用備蓄倉庫**

地域	設置場所	形状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	日赤京都救護活動センター (京都府赤十字血液センター内)	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
	京丹波町役場敷地内	軽量鉄骨造
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター敷地内	コンテナ倉庫
	京都府長岡京市記念文化会館	軽量鉄骨造
	精華町地域福祉センターかしのき苑敷地内	コンテナ倉庫

**(8) 救援物資の配布と備蓄**

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、救援物資である毛布・緊急セットを府内全市町村の地区・分区に備蓄しているほか、令和4年度は京丹波町と長岡京市に京都府支部の災害救護用倉庫を設置しました。災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配分状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数(枚)	緊急セット 配分数(個)	安眠セット 配分数(個)	タオルケット 配分数(枚)
	世帯数 (世帯)	人員 (人)				
住家全焼	25	48	21	28	13	10
住家全壊	0	0	0	0	0	0
住家流出	0	0	0	0	0	0
住家半焼	16	26	13	8	6	2
住家半壊	0	0	0	0	0	0
住家床上浸水	0	0	0	0	0	0
避難所	5	7	7	0	0	0
その他	10	25	4	5	1	1
合計	56	106	45	41	20	13

②救援物資の備蓄状況

場所	毛布（枚）	緊急セット（個）	安眠セット（個）	タオルケット（枚）
支部等の倉庫	4, 8 6 4	2, 5 4 4	9 6 6	2, 8 0 9
地区・分区	2, 2 6 8	8 6 9	8 4 1	9 5 4
合計	7, 1 3 2	3, 4 1 3	1, 8 0 7	3, 7 6 3

(9) 災害死亡見舞金の贈呈

令和4年度は、火災などの災害により死亡された13名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(令和5年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

12件 13名 260,000円(1名あたり 20,000円)

(10) 国内災害義援金

(令和5年3月末現在)

区分	京都府支部		
		令和4年度受付分	受付開始からの累計額
平成30年7月豪雨災害	4件	191,591円	13,921,664円
令和2年7月豪雨災害	7件	218,783円	2,771,936円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	5件	27,287円	67,824円
令和4年7月大雨災害義援金	5件	20,523円	20,523円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	6件	46,423円	46,423円
令和4年台風第15号災害義援金	9件	252,770円	252,770円
合計	36件	757,377円	

## 2. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導にあたる指導員の養成にも努めました。その実施状況は次のとおりです。

講習区分	資格講習				短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数				
救急法	31	794	21	582	66	2,423	118	3,799
水上安全法			5	50	4	94	9	144
健康生活支援講習			2	34	15	496 (231)	17	530
幼児安全法			2	17	45	902	47	919
合計	31	794	30	683	130	3,915	191	5,392

※この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※（ ）内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

### (1) 指導体制

講習名	支部職員	施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	6	52	87	145
水上安全法	1	0	20	21
健康生活支援講習	2	30	4	36
幼児安全法	3	24	6	33

### (2) 講習指導員関係講習会・研修会

講習会・研修会の名称	実施日	会場	参加者(人)
赤十字幼児安全法講習講師研究会	6/8～9	日本赤十字社本社	1
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習	7/9 (事前研修) 8/1～5 (本講習) 10/1～2 (事後研修)	京都府支部	12
赤十字救急法指導員養成講習会	8/20 (事前研修) 10/3～7 (本講習) 11/26～27 (事後研修)	京都府支部	14

講習会・研修会の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
第4ブロック赤十字水上安全法Ⅱ 指導員養成講習会	8/27 (事前研修) 9/17～19 9/23～25 (本講習) 11/19～20 (事後研修)	京都府支部他	5
赤十字救急法講師養成講習会	11/29～12/1	日本赤十字社本社	1
赤十字幼児安全法講師養成講習会	11/15～17	日本赤十字社 PMO ビル	2
赤十字水上安全法講師研修会	10/6～7	日本赤十字社 PMO ビル	1
赤十字救急法講師研修会	1/24～25	本社、WEB (オンラ イン)	3
赤十字健康生活支援講習講師研修 会	1/10～11	日本赤十字社本社	2
赤十字幼児安全法講師研修会	1/11～12	日本赤十字社本社	3
赤十字健康生活支援講習指導員研 修会	2/21	京都第一赤十字病院	1 2
赤十字幼児安全法指導員研修会	2/21	京都第一赤十字病院	9
赤十字健康生活支援講習指導員研 修会	3/7	舞鶴赤十字病院	5
赤十字幼児安全法講習指導員研修 会	3/7	舞鶴赤十字病院	4
赤十字健康生活支援講習指導員研 修会	3/15	京都第二赤十字病院	1 5
赤十字幼児安全法講習指導員研修 会	3/15	京都第二赤十字病院	1 1
赤十字幼児安全法指導員研修会 (ボランティア指導員)	3/16	京都府支部	6
赤十字健康生活支援講習指導員研 修会 (ボランティア指導員)	3/17	京都府支部	3
赤十字救急法指導員研修会	3/19～31	WEB (オンデマン ド) 形式及び京都府 支部※	8 7
赤十字水上安全法指導員研修会	3/27	京都踏水会水泳学園	1 3

※WEB (オンデマンド) 形式での受講が難しい指導員向けに京都府支部で実施 (3/24・27・28)



### 3. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及・活動資金の募集・献血の推進・災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

#### (1) 奉仕団登録状況

区分	団数 (団)	分団数 (団)	人数 (人)	備考
地域奉仕団	14	219	2,444	京都市11団、綾部市1団、舞鶴市1団、城陽市1団
青年奉仕団	3	—	252	赤十字京都ユース22名 京一・京二看護学生奉仕団230名
特殊奉仕団	2	—	86	赤十字レスキューチェーン京都 62名 青少年赤十字賛助奉仕団 24名

#### (2) 奉仕団活動状況

##### ①赤十字レスキューチェーン京都

行事名	実施日	会場	参加者 (人)
赤十字無線救護奉仕団 第4ブロック連絡協議会役員会	4/9	大阪府支部	2
第4ブロック合同災害救護訓練	6/18	奈良県 (田原本青垣生涯 学習センター 他)	8
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市 (保津川河川敷)	5
京都府総合防災訓練	9/4	精華町 (東光小学校)	5
宇治市総合防災訓練	10/23	宇治市 (木幡中学校)	6
京都市総合防災訓練	10/29	左京区 (岡崎公園一帯)	3
長岡京市防災訓練	10/30	長岡京市 (長岡第六小学 校)	2
宇治福祉まつり (中止)	11月	宇治市	—
宇治川マラソン大会	2/26	宇治市 (太陽が丘 他)	16
第34回全国車いす駅伝競走大会	3/11~12	京都市 (西京極総合運動 公園 他)	2
合計			49

② 赤十字京都ユース(RCY)

行事名	実施日	会場	参加者(人)
第4ブロック青年赤十字奉仕団協議会代表者会議	5/15	WEB(オンライン)開催	3
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	6/12	WEB(オンライン)開催	16
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	10/16	WEB(オンライン)開催	17
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/19	大阪赤十字会館	3
京都市はたちを祝う記念式典のボランティア活動	1/9	京都市勧業館 みやこめっせ	4
第34回全国車いす駅伝競走大会	3/11~12	京都市(西京極総合運動公園 他)	47
合 計			90

③ 青少年赤十字賛助奉仕団

行事名	実施日	会場	参加者(人)
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/14~15	本社	1
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	7/21	東本願寺同朋会館	6
第4ブロック支部 青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	10/20	奈良県	5
NHK海外たすけあい街頭募金	12/10	四条河原町	3

(3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所(活動内容)	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	中止	—

※新型コロナウイルス感染症の影響により、年間通じて奉仕活動は中止

#### (4) 赤十字奉仕団支部指導講師の活動状況

①支部指導講師 3名

②活動状況

活動内容	実施日	会 場	参加者 (人)
滋賀県青少年赤十字高校生連絡協議会	6/2	日赤滋賀県支部	29
Limitless事業『絵本の読み聞かせ』	6/29	京都市立金閣小学校	52
京都府青少年赤十字トレセン指導者事前研修会	7/25	日赤京都府支部	16
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター小学生の部	7/30	京都テルサ	41
千代川町人権研修会	9/24	千代川町自治会館	45
青年赤十字奉仕団基礎研修会	10/16	日赤京都府支部	14
2022年度竜王町人権啓発セミナー	10/18	竜王町防災センター	51
保津六者連絡協議会研修会	10/21	保津文化センター	10
亀岡市南つつじヶ丘小学校	11/18	亀岡市南つつじヶ丘小学校	67
中部同推協PTA部会幹部研修会(学年・学級委員対象)人権研修会	11/21	亀岡市立大成中学校	29



## 4. 青少年赤十字（JRC）

将来の赤十字の担い手を育成する青少年赤十字活動を展開し、その強化を図るため、京都府・京都市並びに各市町村の教育委員会、青少年赤十字指導者協議会、青少年赤十字賛助奉仕団等の協力を得て、子どもたちが赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を作り上げることができるよう、学校教育の中で取り組まれています。

### （１）加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園 認定こども園	小学校	中学校	高校	合計
加盟校数（校）	17	183	6	6	212
メンバー数（人）	1,217	67,216	2,819	67	71,319

### （２）リーダーシップ・トレーニング・センター

小学生の部 7月30日（土） 参加者 41名

高校生の部 8月2日（火） 参加者 42名

開催場所 京都府民総合交流プラザ 京都テルサ



小学生の部



高校生の部



### （３）研修会の実施

行事名	実施日	会場	参加者（人）
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/4	京都テルサ	29
京都府青少年赤十字トレセン指導者事前研修会	7/25	京都府支部	16
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	1/21	西京区役所	17



#### (4) 青少年赤十字モデル事業

テーマ・内容	学校
<p><b>健康・安全</b> 「ぼうさいまちがいさがし・きけんはっけん！」を活用して</p> <p>地震が実際に起こった時、近くに大人がいなくても自分がどのように動くことが命を守る事に繋がるのかを気づき、考え、実行する子どもに育てたい。</p> <p>幼稚園児は自分のやりたいことをするという特性があるが、大事な場面では大人の指示に従うことも大切であると伝えたい。</p> <p>① 毎月の避難訓練と乾隆小学校との合同訓練を通じ、防災意識を高める。 ② 幼稚園、保育所向け防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を活用し、子どもたちと一緒に防災（地震から身を守る事）を考える。</p>	<p>京都市立 乾隆幼稚園</p>
<p><b>国際理解・親善</b> 「みんななかよく」</p> <p>本園には外国にルーツをもつ園児がおり、7月には韓国から一時帰国をしてきた園児が入園したため、子どもたちはお互いの言語が分からないまま一月を過ごしていた。</p> <p>また近年は特に、スポーツの国際大会が多く開催されていることもあり、世界には様々な国や人種が存在することを日々知らせていた。</p> <p>一方で、ウクライナ人道危機が連日メディアでも取り上げられ、子どもたちもその様子を日々目にしていた。</p> <p>① 日本以外の言葉を聞いたり、絵本や映像を通したりして、世界の国々や文化を知る。 ② 気持ちをコントロールする力を身につけ、自他を大切にすることを育む。 ③ 絵本を通じて、世界には食べ物が十分ではない子どもたちがいることを伝え、ものや食べ物を大切にすることを育む。</p>	<p>京都市立 西院幼稚園</p>
<p><b>健康・安全</b> 「生き生きとした学校生活を送ろう」～コロナ渦における衛生管理の徹底～</p> <p>コロナ渦における学校の衛生管理に不安を抱く児童や家庭がある</p> <p>① 授業開始5分前に音楽を流して、手洗いの時間を確保する。 ② 委員会活動で児童がポスターを作り、全校に手洗いや換気を呼びかける。 ③ 給食配膳を教職員が行い、児童が他の児童の食器に触れる事がないようにする。 ④ 体育振興会や自治連合会でのイベントは、感染症対策を徹底して行う。</p>	<p>京都市立 紫竹小学校</p>

テーマ・内容	学校
<p><b>健康・安全</b> 「学校における防災」</p> <p>近い将来必ず起きると言われている大地震に対する備えとして、防災に対する意識の向上と行動できる力をもつようにする。</p> <p>① 避難訓練は常に本番を想定した行動をとり、回を重ねるごとに、教師が近くにいない時間（休み時間）や事前のお知らせを無くして、児童が自ら動く訓練を行う。</p> <p>② 区役所防災担当の方を、講師として防災学習に招き、学びを深める。実際に、ダンボールベッドやテント張りを体験した。</p> <p>③ 学校安全日を設けて、教職員・地域・PTAが協力し、通学路で見守る。</p> <p>④ 学校と地域が協働し、避難所運営に関わる物資の整備を行う。</p>	<p>京都市立 養正小学校</p>
<p><b>健康・安全</b> 「大切ないのちを守る」～中学生でも人を助けることができる～</p> <p>神川中学校は桂川の西側に位置しており、数年前も河川が氾濫し避難を余儀なくされた。いつ災害が起きても冷静に対応する力を生徒に身につけたい。ワンダーフォーゲル部では、登山活動や宿泊学習を行っており、天気によって左右される部活動でもあるため、積乱雲について知り身を守る大切さを学ばせたい。</p> <p>① 救急法短期講習・・・一次救命処置、AEDの使用方法。 ② 防災ワークショップ・・・台風や積乱雲から身を守る方法。 ③ 非常食体験・・・アルファ米及びカレーライス</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="209 1305 660 1603">  </div> <div data-bbox="700 1312 1142 1603">  </div> </div> <p style="text-align: center;"> <span data-bbox="293 1621 606 1653">胸骨圧迫を体験する生徒</span> <span data-bbox="804 1621 1029 1653">非常食体験の様子</span> </p>	<p>京都市立 神川中学校</p>

## (5) 防災教育プログラム

### 防災学習の取組（京都府支部確認分）

実施校	実施日	内容
京都市立神川中学校	1/14	防災ワークショップ
京都市立金閣小学校	2/3	「まもるいのち・ひろめるぼうさい」
京都市立乾隆幼稚園	—	「ぼうさいまちがいさがし・きけんはっけん！」

## (6) 高校生の献血セミナー

学校名	実施日	会場	参加者（人）
京都府立山城高等学校 JRCメンバー	8/10	血液センター	5
京都府立鳥羽高等学校 JRCメンバー 京都府立北嵯峨高等学校 JRCメンバー	3/22	血液センター	10
華頂女子高等学校 JRCメンバー	3/23	四条ルーム	6

## (7) 高校生による募金活動（京都府支部確認分）

学校名	活動内容	実施時期
京都府立山城高等学校	ウクライナ地震救援金	7月
京都府立鳥羽高等学校	赤十字活動資金募集	10月
	トルコ・シリア地震救援金	2月
華頂女子高等学校	NHK海外たすけあい募金	11月
高校生メンバー協議会	NHK海外たすけあい募金	12/10、12/17



血液センターを見学する様子  
(山城高等学校)



献血セミナーを受講  
(華頂女子高等学校)



トルコ・シリア地震の救援金協力  
(鳥羽高等学校)

## (8) 活動状況

行事名	実施日	会場等	参加者 (人)
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/18	対面/WEB会議	22
青少年赤十字創設100周年オープニングイベント	5/5	WEB配信	—
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/23	対面/WEB会議	16
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/4	京都テルサ	37
全国青少年赤十字指導者協議会役員会・総会	6/29	WEB会議	1
Limitless事業『絵本の読み聞かせ』	6/29	金閣小学校	52
第2回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	7/4	対面/WEB会議	18
青少年赤十字第4(近畿)ブロック支部指導者研修会 JRC創設100周年記念滋賀県青少年赤十字大会	7/29	滋賀県	1
京都府立鳥羽高等学校・京都府立山城高等学校 華頂女子高等学校 JRC部救急法基礎講習会	8/9	京都府支部	19
青少年赤十字創設100周年記念国際交流事業(第1部)	10/2	WEB会議	3
子ども体験教室(ふれあいバスケット)	11/5	乾隆小学校	30
青少年赤十字創設100周年記念国際交流事業(第2部)	11/5-6	WEB会議	3
京都府立北嵯峨高等学校・京都府立嵯峨野高等学校 JRC部救急法基礎講習会	12/26	京都府支部	13
京都府青少年赤十字高校顧問会議	8/6	WEB会議	7
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	1/21	西京区役所	23
京都市青少年赤十字研究会による防災授業	2/3	金閣小学校	—
第3回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	2/20	対面/WEB会議	13
高校生メンバー協議会 献血呼びかけ活動	3/18	イオン桂川	17
全国JRCスタディー・プログラム第1部	3/21	京都府支部	3
全国JRCスタディー・プログラム第2部	3/25	本社	2

## 5. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しており、昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めております。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

### (1) 京都第一赤十字病院

当院の病院ビジョンは、「地域に信頼される最高の基幹病院を目指す」であり、「臨床・学術・教育&地域連携の四方よし」、「愛と誠と夢のある病院づくり」、「働き方改革への取り組み」、「WITHコロナへの対応」をサブビジョンとして挙げ、蘆田新看護部長、綾城新事務部長と共に令和4年度のスタートを切りました。



京都第一赤十字病院

令和4年度の経営目標は医業収支の黒字化とし、診療報酬改定後、急性期充実体制加算を取得、地域医療の役割分担として、より高度急性期医療へシフトしていく方針としました。

経営健全化のアクションプランの再開、周産期センター拡張工事、手術室増設および体制強化を決定しましたが、コロナ第7、8波の到来で院内・院外ではクラスターが発生し、業務調整を行わざるを得なくなり、新入院患者数の減少が否めない状況となりました。また、ウクライナ侵攻の長期化などにより、資材などの物価高騰、サプライチェーンが混乱したため、周産期センターの拡張工事は令和5年度への延期を余儀なくされました。

令和4年度の収支は、医業収益237億4716万円（昨年比5億5007万円増）、医業費用は239億5478万円（昨年比10億123万円増）で、医業収支マイナス2億762万円（昨年比4億5115万円減）でした。

概要としては、新入院患者数の減少がありましたが、コロナ入院診療に対する診療報酬上の特例加算もあり収益は増加しました。しかし、給与費・設備関係費・経費の増加が大きく、黒字にはなりませんでしたが、昨年より赤字幅を半減でき、総収支はコロナ入院診療の補助金のため、黒字となりました。

今後も、地域の基幹病院として、高度急性期病院として、その役割を果たせるよう取り組んでいきたいと思っております。



## (2) 京都第二赤十字病院

令和4年度においては、医業収益219億72百万円、医業費用219億94百万円で、本業の医業収支は23百万円の赤字となりましたが、病院総収支では、24億84百万円の黒字を達成し、建設資金を増加させることができました。



京都第二赤十字病院

この間、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行ったことなどにより、入院診療単価が増加となり、入院患者延数も微増となったことなどから、医業収支は23百万円の赤字に抑えることができました。病院総収支においては、新型コロナウイルス感染症に係る補助金などにより、昨年度に引き続き黒字となりました。しかし、当院は、建物の老朽・狭隘化による新病院建設が喫緊の課題であり、不安定な国際情勢による物価高騰などから建築単価は高騰を続け、新病院建設に要する費用は高騰することが予測されるため、新病院建設資金の更なる積み増しが必要となります。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類移行したところですが、ウイルスはなくなったわけではなく、高度急性期を担う当院としても、引き続き適切な感染対策を行いながら、救命救急センターや入院病棟の受け入れ体制を整え、安全で質の高い医療を継続して提供してまいります。

また、経営改善や物価高騰問題など新病院建設に向けた課題が山積する中ではありますが、地域に必要不可欠な医療機関として、「選ばれる高度急性期病院」であり続けるために、患者さんや地域医療機関のみならず「職員からも選ばれる病院」を目指して、病院職員一丸となって、課題解決に向けて取り組んでまいります。



人工股関節置換手術支援ロボット

「ROSA Hipシステム」



人工膝関節手術支援ロボット「CORI」

### (3) 舞鶴赤十字病院

当院では慢性的な医師不足が続いており、令和4年度も常勤医15名（うち、非正規3名）と引き続き厳しい状況が続きました。

そんな中、新型コロナウイルス感染拡大が続き、重点医療機関としての体制整備と一般診療の継続を並行して行いました。

院内において2度のクラスターを経験いたしましたが、職員の奮闘により早期に収束に繋げる事が出来ました。

一方、全体の入院患者延数は45,908人（前年度比▲820人）、病床稼働率は81.1%（前年度比▲1.8%）と減少したことに加えて緊要な経費が膨らみ医業収益は3億円の大幅な赤字となりました。

しかしながら、病床確保補助金等の影響もあり、総収支は2.5億円の黒字に転化しております。舞鶴市は高齢化率が32.5%と全国平均よりも高い地域であり、人口減少も著しく、2045年には▲33.2%減少し、約5.4万人と見込まれています。

現在、当院を含め3つの医療機関が連携し急性期医療の担っておりますが、各病院が診療科の偏在に加え、医師をはじめ看護師等の医療従事者確保に苦慮しております。

今後も地域に根差した医療提供体制の構築に向け、協議を進めてまいります。



舞鶴赤十字病院

## 医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数（人）				入院患者数（人）		外来患者数（人）	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	603	599	リウマチ内科、総合内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経・脳卒中科、呼吸器内科、腎臓内科・腎不全科、消化器外科、肝胆膵外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児科、産婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、集中治療科、救急科、健診科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、病理診断科	331	755	452	1538	174,880	479	288,794	1,188
京都第二赤十字病院	667	546	総合内科（内科）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科（神経内科）、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科（精神科）、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	339	702	463	1504	159,648	437.4	302,298	1,244.0
舞鶴赤十字病院	198	155	内科・消化器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科	13	118	112	243	45,908	126	82,663	342

注) 病床数・職員数は令和5年3月31日現在、患者数は令和4年度実績

## 6. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区分	件数	延日数	延派遣職員			
			医師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	2	3	3	3	0	6
京都第二赤十字病院	14	27	5	33	0	38
舞鶴赤十字病院	11	13	0	15	3	18
合計	27	43	8	51	3	62

## 7. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、約130年の歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

### (1) 養成施設及び学生数

(令和5年3月31日現在)

学校名	1年	2年	3年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	40 (2)	39 (5)	38 (1)	117 (8)
京都第二赤十字看護専門学校	28 (1)	44 (4)	39 (0)	111 (5)
合計	68 (3)	83 (9)	77 (1)	238 (13)

( ) は男子学生の内数です。

### (2) 進路等の状況 (令和4年度)

学校名	所属病院	進学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	32	2	4	38
京都第二赤十字看護専門学校	33	2	4	39
合計	65	4	8	77

## 8. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、並びに各種団体のご理解とご協力を得て、令和4年度献血者数は113,410人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様には献血へのご協力を呼び掛けるために、献血会場での新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底すると共に、献血Web会員サービス（ラブラッド）の会員登録を推進して、献血予約を拡充し、ご協力いただきやすい環境づくりに取り組んでいます。

### (1) 令和4年度 献血状況

献血方法別	京都府		全国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
血漿献血	20,203	17.8	1,039,222	20.7
血小板献血	15,761	13.9	544,833	10.9
400mL献血	76,307	67.3	3,300,701	65.9
200mL献血	1,139	1.0	123,985	2.5
合計	113,410	100	5,008,741	100

### (2) 令和4年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都府		全国	
	本数(本)	構成比(%)	本数(本)	構成比(%)
全血	0	0	10	0
赤血球	146,739	34.8	6,504,503	37.7
血漿	52,892	12.6	2,087,095	12.1
血小板	221,750	52.6	8,652,446	50.2
合計	421,381	100	17,244,054	100

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したものです。



献血バスでの献血の様子



医療機関からの要請により、  
輸血用血液製剤を届ける様子



### (3) 若年層献血者確保対策

今後の輸血医療を支えていく若年層（特に小中高生）を対象に献血セミナーを開催し、将来の献血者となるよう啓発に努めています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、新しい生活様式に対応し、各学校の要望も踏まえてオンラインセミナーを実施しました。

献血のご協力が減少しがちな冬季のイベントとして、12月に「全国学生献血クリスマスキャンペーン」を全国的に実施しました。京都府でも京都府学生献血推進協議会のメンバーが、若者を中心に広く府民への献血の協力を呼びかけました。



京都府学生献血推進協議会によるキャンペーン



献血セミナーの様子（京都北部の高校にて）

## 9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として各国の赤十字社・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社は互いに協力しながら活動を続けており、京都府支部においても救援金の受付や救援事業等を行いました。

### (1) 海外救援金

#### ① 海外救援金

(令和5年3月末現在)

区分	京都府支部		
		令和4年度受付分	受付開始からの累計額
中東人道危機救援金	1件	10,000円	1,562,347円
バングラデシュ南部避難民救援金	63件	442,500円	2,546,500円
ウクライナ人道危機救援金	54件	28,952,291円	31,264,787円
2022年アフガニスタン地震救援金	1件	10,000円	10,000円
2022年パキスタン洪水救援金	1件	10,000円	10,000円
2023年トルコ・シリア地震救援金	33件	3,229,358円	3,229,358円
海外無指定救援金	59件	397,500円	3,366,100円
合計	212件	33,051,649円	

②「第39回NHK海外たすけあい」寄付金

(期間 令和4年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府	全国
支 部	827,977円	45,919,665円
N H K	147,553円	19,481,896円
銀 行 等	116,543円	24,816,481円
本社(郵便局含む)	—	696,870,669円
合 計	11,826,438円	787,088,711円

③青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動

日本赤十字社の青少年赤十字海外支援事業として実施し、ネパール赤十字社における水や衛生設備の整備事業及びバヌアツ赤十字社における子どもたちの防災教育事業資金に充当しました。

日赤京都府支部有功会の国際援助協力事業 30,000円

(2) 支部国際活動参加事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、救急法等の講習普及支援を平成16年度から実施しています。京都府支部は、令和4年度にラオス赤十字社に対し、1,000,000円の資金協力を行いました。

(3) 研修及び学会参加

研修名	日時	会場	参加人数
安全管理研修Ⅱ (国際救援・開発協力要員)	6/24～26	日本赤十字社本社 PMOビル	1
国際人道法普及セミナー	2/15～17	WEB形式	1
第58回日赤医学会総会(発表) 「第1回グローバルヘルス研修1 看護職員の事後レポート分析」	10/6～7	旭川市民文化会館・OMO旭川・アートホテル旭川	1



## 10. 社員（支援者）増強と社資募集

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動を続けておりますが、これらの活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の皆様から積極的なご協力をいただいた結果、令和4年度は303,696,110円もの活動資金へのご寄付をいただきました。なお、口座振替やクレジットカード決済等による活動資金募集につきましては、2,229件 13,840,612円のご寄付があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しております。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、一層皆様のご理解を得て、支援者の増強と活動資金の増収に向け、取組を推進してまいります。

### (1) 活動資金収納状況

(各年3月末現在)

区分		令和4年度(円)	令和3年度(円)	対前年度比較(%)
地区扱い	京都市	99,093,732	112,983,697	87.7%
	府内14市	72,186,160	89,179,234	80.9%
	府内町村	12,773,396	12,833,251	99.5%
	小計	184,053,288	214,996,182	85.6%
支部扱い		119,642,822	214,639,320	55.7%
合計		303,696,110	429,635,502	70.7%

※個人住民税控除適用海外救援金を除く

### (2) 会員数(※)

(各年3月末現在)

区分		令和4年度			令和3年度		
		個人	法人	合計	個人	法人	合計
地区扱い	京都市	617	228	845	531	225	756
	府内14市	224	26	250	190	24	214
	府内町村	18	2	20	16	2	18
	小計	859	256	1,115	737	251	988
支部扱い		2,609	794	3,403	2,194	693	2,887
合計		3,468	1,050	4,518	2,931	944	3,875

※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方

### (3) 社資功労表彰件数

(各年3月末現在)

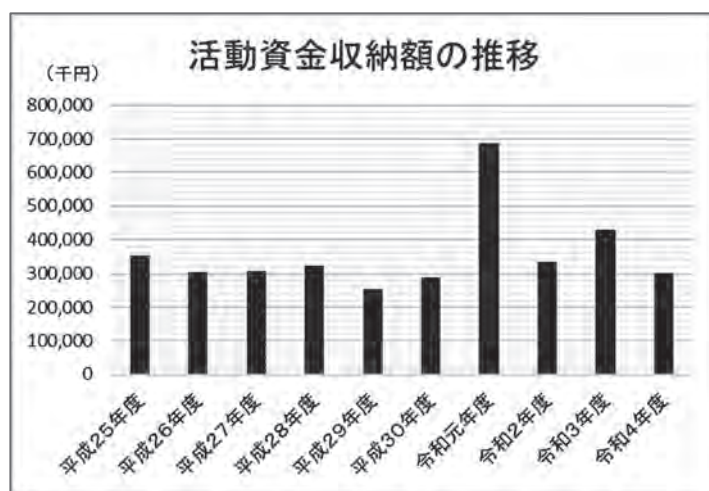
表彰名	件数
日本赤十字社長感謝状	1
金色有功章	2
銀色有功章	7
日本赤十字社京都府支部長感謝状	0

## 地区別実績額

京都市内 地区	金額
北 区	8,706,562
上京区	7,600,200
左京区	12,762,364
中京区	10,312,434
東山区	4,170,736
山科区	9,602,475
下京区	7,287,161
南 区	6,528,538
右京区	13,247,388
西京区	8,533,911
伏見区	10,341,963
合計①	99,093,732

広域振興局 地区	金額
山城（乙訓）	639,109
山城（山城北）	2,875,946
山城（山城南）	4,214,824
南 丹	2,154,274
丹 後	2,889,243
合計③	12,773,396
地区計（①+②+③）	184,053,288
支部扱	119,642,822
合計	303,696,110

京都府内 地区	金額
宇治市	9,125,431
亀岡市	8,027,951
綾部市	2,398,720
福知山市	11,035,642
宮津市	1,679,612
舞鶴市	6,181,730
城陽市	5,499,161
向日市	2,227,940
長岡京市	4,753,284
八幡市	2,570,461
京田辺市	3,872,101
京丹後市	6,308,956
南丹市	4,010,550
木津川市	4,494,621
合計②	72,186,160



## 1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

### (1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を毎年『赤十字運動月間』として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけています。コロナ禍により開催が中止となった行事もありましたが、京都府支部においても、赤十字の活動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくための取組を行いました。

### (2) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	実施日	場所
ひろげよう赤十字の輪（和）	中止	
第48回 鴨川茶店	4/10	ながらぎの道 （北大路橋上ル鴨川東岸・府立植物園西側）
秋の上京区民まつり2022	10/30	京都市立上京中学校
令和4年度府民交流フェスタ	11/3	京都府立植物園

※新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント（ふれあいまつり等）が中止されています。

### (3) 広報活動の展開

広報内容	期間	場所	備考
赤十字バナーの掲揚	4/11～5/23	七条通（支部前～川端通）	
各戸チラシの配布	4～5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
市民しんぶん等による広報	4～5月	各地域での啓発	地区に依頼
ポスターの掲示	5月	J R西日本 京都市営地下鉄 阪急電鉄の各駅	
立て看板の設置	5/1～31	支部	
レッドライトアッププロジェクト	5/8	京都府庁旧本館 舞鶴赤十字病院、 京都府赤十字血センター	
広報紙「赤十字きょうと」の発行	7月、2月	会員等に送付	
テレビCM	通年	K B S 京都 京丹波町ケーブルテレビ	
ラジオCM	通年	K B S 京都、エフエム京都、 エフエム宇治、F Mあやべ、 F Mまいづる	
パネル展示	5/9～13	左京区役所	
	9/5	京都府立嵯峨野高等学校	



広報内容	期間	場所	備考
パネル展示	11/14～29	精華町役場	
	3/12	与謝野町役場	

#### (4) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」出動状況

名称	期日	場所	備考
文化祭（赤十字活動の普及・啓発）	9/7	京都府立北嵯峨高等学校	
有功会小児病棟入院児激励	12/23	京都第二赤十字病院	

#### (5) 学校、病院等における講義・研修

名称	実施日	内容	備考
京都第一赤十字病院 新入看護職員研修会 赤十字概 論ⅡⅢ	4/5	Bangladesh 南部避難民保健医療支援事 業活動報告 ウクライナ人道危機における赤十字の活動 赤十字の基本原則と国際人道法	WEB形式
京都桂看護専門学校 看護の統合と実践Ⅲ（国際看 護）	4/12	国際看護の展開（赤十字の活動を中心に） 赤十字のあゆみと活動 Bangladesh 南部避難民保健医療支援事 業 活動報告	対面講義
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論（災害救護）	5/12	日本赤十字社と支部の役割と活動 日本赤十字社の救護活動（法的根拠、救護 活動の範囲） 支部の事業	対面講義
日本赤十字秋田看護大学 国際看護学	5/16	赤十字の国際活動（ケニア地域保健強化事 業・ Bangladesh 南部避難民保健医療支 援事業）	WEB形式
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論（国際活動）	5/19	東日本大震災での活動 日本赤十字社の国際活動（ウクライナ人道 危機、 Bangladesh 南部避難民保健医療 支援事業）	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 看護学概論	6/13	国際協力のしくみ 国際看護活動の実際（ケニア地域保健強化 事業、 Bangladesh 南部避難民保健医療 支援事業、ウクライナ人道危機支援）	WEB形式
京都第一赤十字看護専門学校 災害看護論（国際活動）	10/19	国際赤十字・赤新月運動について 赤十字の国際活動（ Bangladesh 南部避 難民保健医療支援事業、ウクライナ人道危 機支援）	WEB形式
京都橘大学看護学部 国際看護学Ⅰ	12/1	赤十字のあゆみと国際人道法 国際救援の基本理念 赤十字国際活動（ケニア地域保健強化事 業・ Bangladesh 南部避難民保健医療支 援事業、ウクライナ人道危機支援）	対面講義

# 資料

## 令和4年度の主な行事

### 赤十字大会の開催

項目	期日	場所	参加者数
全国赤十字大会	5月19日(木)	東京都・明治神宮会館	10

### 評議員会

実施日	場 所	議 案
6月17日(金)	ザ・サウザンドキョウト	支部・施設の令和3年度決算等
2月22日(水)	ホテルグランヴィア京都	支部・施設の令和5年度予算等

### 業務・会計監査

実施日	対象施設
5月27日(金)	京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院、 京都府赤十字血液センター、京都府支部

### その他行事

実施日	内容	開催場所等
5月1日(日)～31日(火)	赤十字運動月間	京都府内一円
6月18日(土)	第4ブロック合同災害救護訓練	奈良県田原本町
9月4日(日)	京都府総合防災訓練	精華町
10月6日(木)～7日(金)	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	大阪市
10月21日(金)	有功会総会	京都市下京区
10月29日(土)	京都市総合防災訓練	京都市左京区
12月1日(木)～25日(日)	「NHK海外たすけあい」運動	京都府内一円
12月10日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金 キャンペーン	京都市下京区
12月17日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金 キャンペーン	京都市下京区
2月16日(木)	第八管区海上保安本部合同訓練	舞鶴市

## 表彰

表彰区分		表彰基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綬 褒 章	500 万円以上 (個人) 1,000 万円以上 (法人)	0	0	0
	厚生労働大臣感謝状	100 万円以上 500 万円未満 (個人)	0	0	0
		300 万円以上 1,000 万円未満 (法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50 万円以上	0	1	1
	金 色 有 功 章	50 万円以上	1	1	2
	銀 色 有 功 章	20 万円以上	4	3	7
	支 部 長 感 謝 状	10 万円以上	0	0	0
	小計			5	5
役職	金 色 有 功 章	在職年数 6 年以上 他	4	0	4
	銀 色 有 功 章	在職年数 3 年以上 他	4	0	4
	小計			8	0
奉仕団員等奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数 10 年以上	2	0	2
	金 色 有 功 章	活動年数 20 年以上	4	0	4
	銀 色 有 功 章	活動年数 15 年以上	0	0	0
	支 部 長 感 謝 状 2	活動年数 10 年以上	8	0	8
	支 部 長 感 謝 状 1	活動年数 5 年以上	8	0	8
	小計			22	0

# 役 職 員 名 簿

(令和5年6月1日現在)

## 京都府支部

支 部 長	西 脇 隆 俊
副 支 部 長	小 石 原 範 和
”	堀 口 文 昭
”	汐 見 明 男
監 査 委 員	武 田 盛 治
”	渡 邊 隆 夫
”	土 井 伸 宏
顧 問	門 川 大 作
事 務 局 長	岡 本 吉 弘
総 務 課 長	上 田 哲 生
組 織 振 興 課 長	亀 永 和 彦
事 業 推 進 課 長	前 田 ゆ か り

## 京都第一赤十字病院

院 長	池 田 栄 人
副 院 長	福 田 互
”	沢 田 尚 久
”	大 澤 透
事 務 部 長	綾 城 義 治
看 護 部 長	蘆 田 美 栄

## 京都第一赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	池 田 栄 人
副 学 校 長	小 林 尚 美
事 務 部 長 (兼)	綾 城 義 治

## 京都第二赤十字病院

院 長	小 林 裕
副 院 長	出 島 健 司
”	魚 嶋 伸 彦
”	藤 原 浩 芳
事 務 部 長	壺 内 賢 一
看 護 部 長	小 川 智 恵 美

## 京都第二赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	小 林 裕
副 学 校 長	副 島 和 美
事 務 部 長 (兼)	壺 内 賢 一

## 舞鶴赤十字病院

院 長	片 山 義 敬
副 院 長	米 山 聡 嗣
事 務 部 長	西 田 宏 幸
看 護 部 長	奥 野 佐 千 子

## 京都府赤十字血液センター

所 長	堀 池 重 夫
事 務 部 長	石 上 雅 一
事 業 推 進 部 長	坂 本 靖 之



# 評 議 員 名 簿

(令和5年6月12日現在)

地区名等	氏名	地区名等	氏名
北区	山本勝保	舞鶴市	鴨田秋津
	辻和男	城陽市	奥田敏晴
上京区	赤井英俊	向日市	安田守
	四方康夫	長岡京市	中小路健吾
左京区	戸川隆博	京田辺市	上村崇
	風間隨成	京丹後市	中山泰
	清水浩平	南丹市	西村良平
中京区	河邑明佳	木津川市	谷口雄一
	安孫子正孝	山城	前川光
東山区	高垣慶嗣		信貴康孝
	田島吉廣		西谷信夫
山科区	◇澤田清一		中淳志
	吉井重光		堀忠雄
下京区	勝間昇		杉浦正省
	小川原繁		平沼和彦
南区	石原國男	南丹	畠中源一
	高落秀男	丹後	吉本秀樹
右京区	市田悦万		山添藤真
	守屋忠敏	支部長選出	○◇栗山正隆
	森田眞利		◇奥田光治
西京区	関谷一男		◇加藤厚
	田畑たつ子		◇安道光二
伏見区	武部太郎		植山正
	社務厚子		馬場健
	松本勝雄		平野正人
宇治市	松村淳子		俣政和
亀岡市	桂川孝裕		足達靖彦
綾部市	山崎善也		松本尚子
福知山市	大橋一夫		
宮津市	城崎雅文		

(順不同・敬称略) 本社役員等：○理事 ◇代議員 定数58名

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図

令和 5年 4月 1日現在

日本赤十字社京都府支部  
(支部長 西脇隆俊)

京都市内	11地区
京都市を除く市	14地区
府振興局	3地区
計	28地区
	11分区
	11分区

京都市地区本部  
(本部長 京都市副市長)

北区	地区	(北区长)
上京区	地区	(上京区长)
左京区	地区	(左京区长)
中京区	地区	(中京区长)
東山区	地区	(東山区長)
山科区	地区	(山科区长)
下京区	地区	(下京区长)
南区	地区	(南区長)
右京区	地区	(右京区长)
西京区	地区	(西京区长)
伏見区	地区	(伏見区长)
京都市	11地区	

宇治市	地区	(宇治市長)
亀岡市	地区	(亀岡市長)
綾部市	地区	(綾部市長)
福知山市	地区	(福知山市長)
宮津市	地区	(宮津市長)
舞鶴市	地区	(舞鶴市長)
城陽市	地区	(城陽市長)
向日市	地区	(向日市長)
長岡京市	地区	(長岡京市長)
八幡市	地区	(八幡市長)
京田辺市	地区	(京田辺市長)
京丹後市	地区	(京丹後市長)
南丹市	地区	(南丹市長)
木津川市	地区	(木津川市長)
14市	14地区	

山城(乙訓)地区	(山城広域振興局長)	大山崎分区
山城(山城北)地区	(山城広域振興局長)	久御山分区、井手分区、宇治田原分区
山城(山城南)地区	(山城広域振興局長)	笠置分区、和束分区、精華分区、南山城村分区
南丹地区	(南丹広域振興局長)	京丹波分区
丹後地区	(丹後広域振興局長)	伊根分区、与謝野分区
3振興局	3地区(5保健所)	11町村 11分区

## 施設一覽

- **日本赤十字社京都府支部**  
〒605-0941  
京都市東山区三十三間堂廻り町644 TEL 075(541)9326  
ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/kyoto/>
- **京都第一赤十字病院**  
〒605-0981  
京都市東山区本町15-749 TEL 075(561)1121  
ホームページ <http://www.kyoto1-jrc.org/>
- **京都第一赤十字看護専門学校**  
〒605-0981  
京都市東山区本町15-749 TEL 075(533)1269  
ホームページ [http://www.kyoto1-jrc.org/vocational\\_school/](http://www.kyoto1-jrc.org/vocational_school/)
- **京都第二赤十字病院**  
〒602-8026  
京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 TEL 075(231)5171  
ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/>
- **京都第二赤十字看護専門学校**  
〒602-8015  
京都市上京区衣棚通出水下ル常泉院町133-3 TEL 075(441)2007  
ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing/>
- **舞鶴赤十字病院**  
〒624-0906  
舞鶴市字倉谷427 TEL 0773(75)4175  
ホームページ <https://maizuru.jrc.or.jp/>
- **京都府赤十字血液センター**  
〒612-8451  
京都市伏見区中島北ノ口町26番地 TEL 075(603)8800  
ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/index.html>
  - 四条出張所（献血ルーム四条）**  
〒600-8006  
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99 四条SETビル5F  
TEL 0120(640)388
  - 京都駅前出張所（献血ルーム京都駅前）**  
〒600-8216  
京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735 京阪京都ビル6F  
TEL 0120(569)356
  - 伏見大手筋出張所（献血ルーム伏見大手筋）**  
〒612-8053  
京都市伏見区東大手町763 若由ビル1F TEL 0120(731)350
  - 福知山出張所**  
〒620-0853  
福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773(27)6630

## 令和4年度事業報告書

発 行 令和5年6月  
発行元 日本赤十字社京都府支部  
住 所 京都府京都市東山区三十三間堂廻り町644  
TEL 075-541-9326  
FAX 075-541-1361